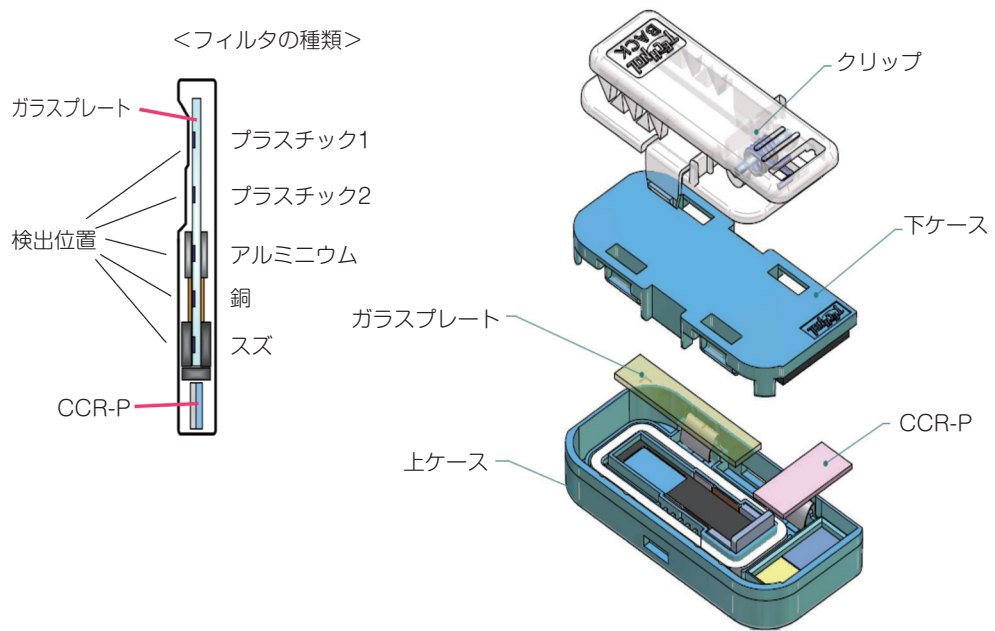


# 1

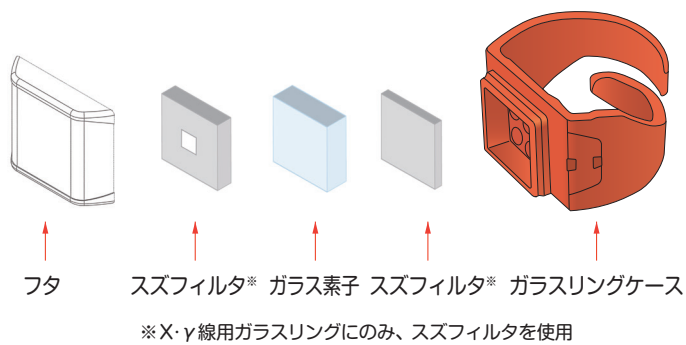
## ガラスバッジとガラスリング およびDOSIRISの構成／種類

### ガラスバッジとガラスリングおよびDOSIRISの構成

#### ガラスバッジの構成



#### ガラスリングの構成



#### DOSIRISの構成



## 線量計の種類

線量計の種類に対応する測定線種および測定範囲は以下のとおりです。

商品名	型式	測定線種			測定範囲	
		X・γ線	β線	中性子	エネルギー <sup>9)</sup>	線量
X線用ガラスバッジ	FX	○			(X線) 10keV~80keV (16keV~80keV) <sup>8)</sup>	0.1mSv~2Sv
広範囲用ガラスバッジ	FS				(X・γ線) 10keV~10MeV (16keV~6.4MeV) <sup>8)</sup>	0.1mSv~10Sv <sup>2) 3)</sup>
広範囲用ガラスバッジPタイプ <sup>1)</sup>	FV	○	○		(β線) 130keV~3MeV <sup>9)</sup> 530keV~3MeV <sup>1) 9)</sup> (0.2MeV~0.8MeV) <sup>8) 10)</sup>	0.1mSv~10Sv <sup>3) 6)</sup>
広範囲用ガラスバッジTタイプ	FT					
広範囲用ガラスバッジTPタイプ <sup>1)</sup>	FK					
中性子広範囲用ガラスバッジ	NS				(X・γ線) 10keV~10MeV (16keV~6.4MeV) <sup>8)</sup>	0.1mSv~10Sv <sup>2) 3)</sup>
中性子広範囲用ガラスバッジPタイプ <sup>1)</sup>	NR	○	○	○	(β線) 130keV~3MeV <sup>9)</sup> 530keV~3MeV <sup>1) 9)</sup> (0.2MeV~0.8MeV) <sup>8) 10)</sup>	0.1mSv~10Sv <sup>3) 6)</sup>
中性子広範囲用ガラスバッジTタイプ	NT					
中性子広範囲用ガラスバッジTPタイプ <sup>1)</sup>	NK				(中性子) 0.025eV~15MeV	0.1mSv~60mSv <sup>3) 4) 5)</sup>
X・γ線用ガラスリング	JQ	○			(X・γ線) 16keV~3MeV (16keV~1.25MeV) <sup>8)</sup>	0.1mSv~1Sv <sup>2) 3) 11)</sup>
β線用ガラスリング	JS		○		(β線) 1.5MeV~3MeV <sup>9)</sup> (0.8MeV) <sup>8) 10)</sup>	0.2mSv~1Sv <sup>3) 6) 11)</sup>
広範囲用DOSIRIS	LA	○	○		(X・γ線) 24keV~1.25MeV <sup>8)</sup> (β線) 0.8MeV <sup>8) 10)</sup>	0.1mSv~1Sv <sup>12)</sup>
広範囲用ガラスバッジリスト型	FW	○	○		(X・γ線) 10keV~10MeV (24keV~1.25MeV) <sup>8)</sup>	0.1mSv~10Sv <sup>2) 3)</sup>
広範囲用ガラスバッジリスト型Pタイプ <sup>1)</sup>	FU				(β線) 130keV~3MeV <sup>9)</sup> 530keV~3MeV <sup>1) 9)</sup> (0.2MeV~0.8MeV) <sup>8) 10)</sup>	0.1mSv~10Sv <sup>3) 6)</sup>
広範囲用ガラスバッジ環境タイプ	ES	○	○		(X・γ線) 10keV~10MeV (β線) 130keV~3MeV <sup>9)</sup>	0.1mSv~10Sv <sup>2) 3)</sup> 0.1mSv~10Sv <sup>3) 6)</sup>
中性子広範囲用ガラスバッジ環境タイプ	EN	○	○	○ <sup>7)</sup>	(X・γ線) 10keV~10MeV (β線) 130keV~3MeV <sup>9)</sup> (熱中性子) 0.025eV~ (速中性子) 140keV~15MeV	0.1mSv~10Sv <sup>2) 3)</sup> 0.1mSv~10Sv <sup>3) 6)</sup> 0.1mSv~8mSv 0.1mSv~60mSv <sup>5)</sup>

- 商品名で、「Pタイプ」とあるものは、オプション商品のジーガードにガラスバッジを入れて使用する商品です。
- 表示の測定線量範囲は、<sup>137</sup>Cs γ線に対する線量範囲です。
- 単独照射の場合の線量範囲です。
- 熱中性子の測定線量範囲は、8mSvが上限となります。
- 表示の測定線量範囲は、<sup>241</sup>Am-Be 中性子に対する線量範囲です。
- 表示の測定線量範囲は、<sup>90</sup>Sr/<sup>90</sup>Y β線に対する線量範囲です。
- 報告は、熱中性子と速中性子の合計です。
- 「JIS Z 4345 X・γ線及びβ線用受動形個人線量計測装置並びに環境線量計測装置」の性能要件を満足する範囲です。
- β線の残留最大エネルギーです。
- β線の平均エネルギーです。
- 70μm線量当量を測定します。
- 3mm線量当量を測定します。

コントロール用線量計について

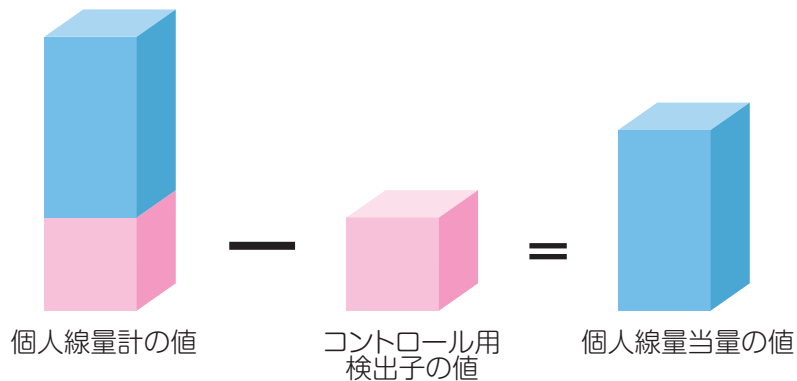


コントロール用線量計は、貴事業所におけるバックグラウンド（自然放射線）の値を差し引くためのものです。人工放射線の影響のない常温常湿の場所に保管してください。コントロール用線量計と測定依頼を受けた線量計を比較し（X線用ガラスバッジを除く）、線量を算定します。測定依頼をされる際は、必ずコントロール用線量計を同封してください。

測定依頼をされた際にコントロール用線量計がない場合、またはコントロール用線量計が異常な値を示した場合には、弊社保管のコントロール用線量計と比較し、線量を算定します。



- 「コントロール用線量計が異常な値を示した場合」とは、コントロール用線量計の通常得られる範囲の値を超えた場合をいいます。バックグラウンドの高い場所で、線量計をご使用された場合は、その旨ご連絡ください。



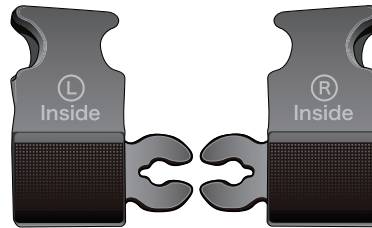
コントロール用線量計の個数は、お客様コード単位かお届け先単位で設定することができます。

## DOSIRISの装着について

- DOSIRISの装着には、防護メガネに取り付ける方法とヘッドバンドを使用する方法の2種類があります。

### 防護メガネに取り付ける方法

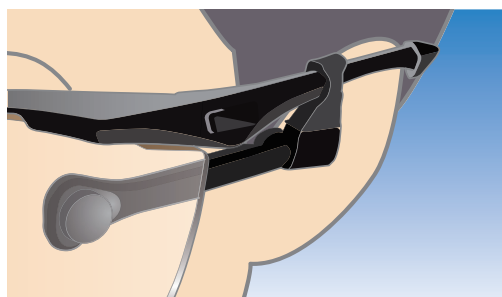
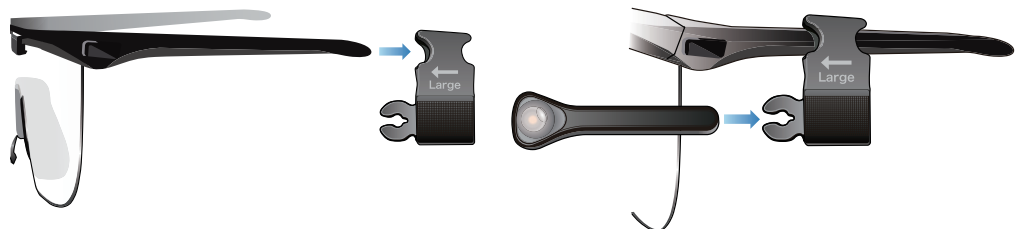
「防護メガネ取付部品」を用いてDOSIRISを放射線防護用メガネに直接取り付けます。左用・右用、さらにゴム部の穴のサイズに大・小があり、全4タイプを用意しています。



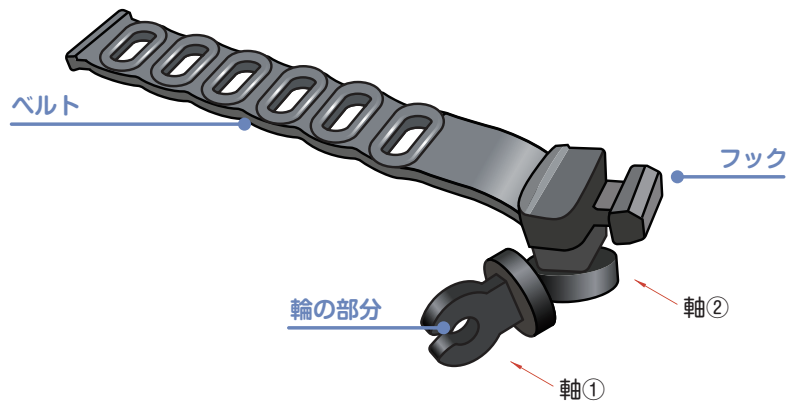
左用

右用

ゴム部の穴にメガネのテンプルを通し、輪の部分にDOSIRISを取り付けてください。「Inside」と表示がある方が内側（顔側）になります。



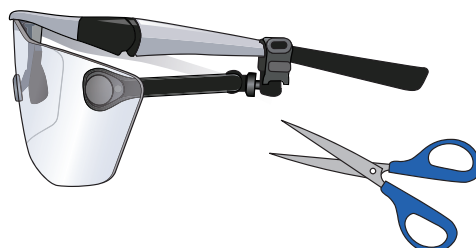
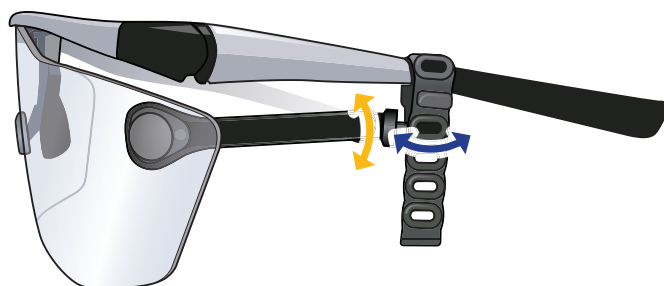
## 防護メガネ取付部品・2軸タイプ



輪の部分にDOSIRISを取り付けてください。防護メガネのテンプルにベルトを巻き付ける位置を決めます。(検出部が目尻にくるように調整してください。)位置が決まったらベルトの穴にフックを差し込みます。

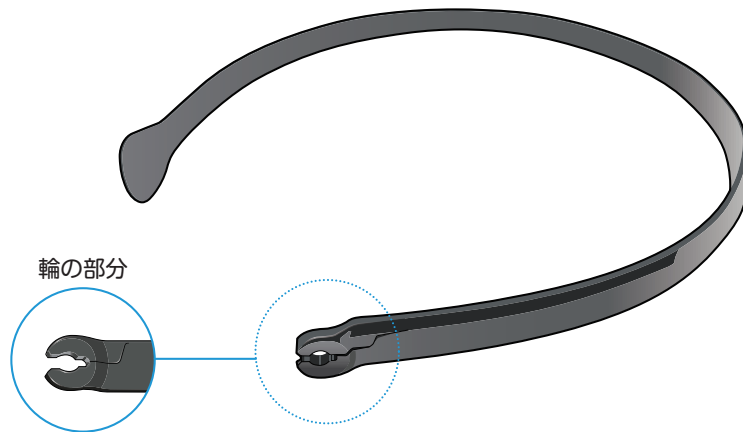


検出部が防護メガネの内側かつ目尻の位置にくるように2軸部分を使って垂直・水平方向に最終調整してください。

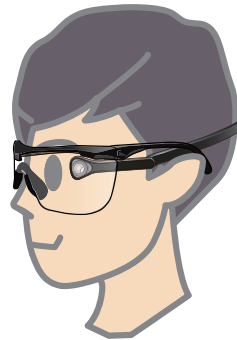


余ったベルトはハサミ等で切っていただいても構いません。

## ヘッドバンドを使用する方法



輪の部分にDOSIRISを取り付け、ヘッドバンドを頭に着けて使用してください。



- DOSIRISを測定依頼する際は、防護メガネ取付部品またはヘッドバンドからDOSIRIS端部を取り外し、発送トレイに収納してください。



- ▶▶▶ ● 防護メガネ取付部品・ヘッドバンドは、返却せず、お客様のお手元にお持ちいただき、お使いください。